

台灣總督府
編輯部報情

昭和十六年九月二十日第三種郵便物認可
昭和十六年二月十五日發行
（每月二回 一日、十五日發行）第一二六號



時局下本島青年に懇ふ

情報部

一、太平洋を繞る國際情勢

諸君！ 試に世界地圖を開いて御覽なさい。そして、この世界地圖の中央に擴がつてゐる太平洋の大きさを御覽なさい。この太平洋は世界の七つの海を合せた位の大きい廣さを有つてゐます。今から八十年前は、この海は極めて穏やかな海でありました。その名も太平洋と言はれる程平和な海であつたのであります。日本はこの太平洋の岸邊にあつて、三百年の間深い眠りに就いてゐたのであります。ところが、この三百年の間に、太平洋を繞る島々は概ね白人の蠶食する所となつてしまひました。御覽なさい、ハワイもヒリツピンもオーストラリアもジャワもボルネオも、凡そ島と云ふ島は皆白人のものになつてしまひました。只この中に、日本、支那、泰、この三國だけは獨立國として面目

を保つて來ました。ところがどうでせう。支那では上海、香港、マカオ、印度支那ではその全部を、海峽植民地ではシンガポールを、泰は國土の四分の三を更に印度もビルマも皆白人のものとなつてしまつて、只一つ獨立國として白人に一指も觸れさせてゐないのは日本のみであります。

この日本が東亞民族のために過去八十年の間、それこそ血みどろの奮闘を続けて参つたのであります。ところが、隣國支那はその國內統一事業のために、民衆の思想方向を排外思想に持つて行き、この思想を盛んに煽り立てこれを看板に國民の思想を或一定の方向に向はせやうとしたのであります。さうして民衆の支持を獲得して、兎も角も統一の大業を八分通り完成しました。しかし乍ら、その排外思想がいつしか排日思想と代つてしまつたのであります。それは蔣介石政府が英米、ソ聯等の巧妙な策謀と莫大な物

質的援助に迷はされた結果でありまして、支那民衆は宛も日本を仇敵の如く考へるに至り、遂に彼の滿洲事變、上海事變を引き起し、續いて今度のこの大きな支那事變を起してしまつたわけでありまして。

ない、只我々は平素その覺悟だけをきめてゐなければならぬと思ふのであります。

二、支那事變と本島人青年

日本が今度の事變を一日も早く終結せしめて、共に日支相提携して仲よく東亞民族の發展を圖らうとするのであります。蔣介石は今では共產黨に引きづられ、英米ソ聯の援助蔣行爲に惑はされて、相變らず氣息奄々として抗戰の夢をむさぼつて居ります。殊に英米の日本に對する物質的精神的の敵性は、近來特にひどいやうになつて参りました。日本が忍耐をして黙つて居ればますますつけあがつて、おどし文句で威嚇して來るのであります。かくの如くにして平和な太平洋は今や怒濤荒れ狂ふ荒海と化してしまつたのであります。

さて、今度の支那事變で、本島人青年が如何にお國の爲に御奉公をしたか、これが臺灣に取つて一番重大な問題であります。過去四十有七年の臺灣の政治も經濟も凡て本島人の生活及び思想が内地人と變る所のない様にと努力されて來たのであります。その結果が今度の戰爭にはつきりと映つて來ました。今こゝで申上げる迄もなく、諸君の親戚の中から、或は近隣の中から續々として青年が召集され、或は軍夫となり、軍通譯となり、或は農業義勇團員となつて皇軍と苦樂を共にしたのであります。

この荒い——いや今正に荒れ模様となつて來た太平洋の真中に、木の葉の様に浮んでゐる島はどこせう。言はずとそれはわが臺灣島であります。一たび太平洋の波が荒れ立つて來れば、臺灣はこの大暴風雨のあふりを喰つて、決してこのまゝではすまされないのであります。

又銃後に在つては地方のいろいろの運動の先頭に立つて、或は空の護りに任じ、或は地方公共事業に盡瘁して青年の本領を發揮されたのであります。これはたしかに臺灣青年の堅實なる志操を物語るものであります。どこでも満足されたことと思ひます。

しかしこれは想像であります。斷じてさうあつてはなら

この臺灣青年——臺灣の將來を擔つて立つべき青年の志操、即ち氣持といふものが、私が先に申しました、波荒い

太平洋の真中に木の葉の如く浮いてゐるこの島の防衛に非常に重大な關係があるといふことを考へないではゐられないのであります。

三、日本の政治經濟外交の大轉換

諸君！ 本年は紀元二千六百年であります。次の世紀に出發した第一年であります。昨年九月二十七日、日本は獨伊と結んで共に東亞の新秩序を建てる指導的役割を擔ふに至つたのであります。これは只同盟を結んだといふだけの簡単なものではありません。今まで日本の政治や經濟がどちらかと言へば英米の方に關係が深かつたのであります。従て輸出入貿易數量の如きはその大部分が米國を相手としてゐたのですが、これとフツツリ手を切つて獨伊と結び、さうして國家に必要なものは自分たちの手で間に合はせる、乃ち日本、支那、滿洲、南洋の亞細亞共榮圈内で、足りない所は、互に相補つて行かうといふことになつたのであります。それがために政治も新體制、經濟も新體制といふ風に今までの行き方を根本的に改めて行くことになつたのであります。言葉を変へて言へば、今までの日本の政治經濟は總て自由主義、資本主義、デモクラシーが本であつ

たのであります。今は個人の勝手氣儘は許されぬ。凡て國家の目的に副ふたものでなくてはならない、つまり國家が必要であれば、これを必要とし國家が必要なしとすれば、個人がいくら欲しいと思ふものでも、それは贅澤品として許されないのであります。獨逸やイタリーではこれを全體主義と申してをりますが、日本のは獨伊の事情とは若干性質が違つてをりまして、全體主義とは言はず、これを「公益優先」と稱へてゐるやうであります。

四、大政翼賛運動

元來日本では個人主義といふ思想は非常に汚いものでありとされてゐるのであります。それは何故かといふと、日本は萬世一系の天皇の統治し給ふ國でありまして、萬民皆上御一人に身を命を獻げ奉つてゐるのであります。乃ち個人の利益、個人の私利私慾なんていふものは「オオヤケ」の前には問題にならない、このオオヤケ——大親、それは畏多くも天皇御一人を指し奉るのであります。天皇陛下は國家の最上至高の御方であらせられ、國家即ち天皇であらせられるのであります。つまり日本の政治は天照大神の御神勅にありますが如く、天皇御親らマツリゴトをお執りにな

るのであります。これを「大政」と申し萬民が天皇の御心に副ひ奉つてこのマツリゴトをお扶け申す、これが「翼賛」であります。さうして一億國民が各々その持場々々を擔任して精を出して働いて、國を富まして行くのが「臣道」であり、これを力強く實行するのが「實踐」であります。

以上の「大政翼賛」「臣道實踐」この二つを國民の心の中にしつかりと植ゑつけて、この非常時を乗り切つて行かうとする運動が大政翼賛運動であり、その役目を擔當してゐるのが大政翼賛會であります。だから大政翼賛會は萬民が皆これに参加せねばならぬものでありまして、政黨や組合の如く一部の人のものであつたり、また反對派があつてはなりません。

これは内地では大政翼賛會と申してをりますが、臺灣では少し事情が違ふので「皇民奉公會」と呼ぶことになり、近く大々的にこの運動が展開され、皆さんも大いに力になつて働いて貰はねばならないと思ひます。

五、臺灣青年に懸ふ

諸君！ 青年は次代を擔つて立つべき卵であります。今日の國家社會は我々現在の人が一生涯命になつてこれを受

持つて居ります。そしてこのバトンに次の時代の人即ち青年へ渡すのであります。その國の將來をトするにはその青年を見るがよいと言はれる如く、臺灣の將來は諸君の双肩にかかつてゐる。臺灣が隆々として日本の南方圏に王座を占めるか、或は……このまゝこれ以下に……そんなことはあり得ないが、要するにあなた方青年に期待する所が大いなのであります。それも只年若いから青年といふのではない、中堅となるべき、ものゝ判つた青年、眞に次の時代の指導的青年に期待する所が大いなのであります。

何を指導的青年といふか、それは臺灣が帝國の南進基地として將來南支南洋の共榮圏に對して、あらゆる親交の手を伸べねばならないのであります。その先驅者となつて活動する青年に——必ずしも自分で飛び出して行けといふのはありません。日本精神をしつかり頭に入れた人達が日本の國策の線に副ふて大に南方に向つて經濟的進出を圖ることが本島青年の一つの光榮ある使命ではないかと考へます。それには今より常にこれに備へ益々日本精神をみがき、修養を怠らず後日の備へに遺憾のない様に努力精進して頂きたいと存する次第であります。(講演資料)

中であつて、ひとりビブン首相が勇ましくも立上り、日本の申入れを心よく引受けたことは、まことに見上げた態度といはねばなりません。

堂々たる日本の態度

日本としてもこの大切な時に、英米の勢力が東亜に伸びることは、東亜の新秩序建設の上からいつても、断じて許すことは出来ません。一步たりとも後にしりぞくことは出来なかつたのです。この日本の正しい立場をよく瞭解して、タイ佛政府が調停を受諾するに至つたことは、東亜共榮圏内に於ける日本の輝かしい指導的地位をますます固めることになるのです。このことは、太平洋をはさんで

期待される構和會議

かうして成立を見たタイ佛印停戰協定は、いよいよ東京で開催されることになり、兩國政府の代表はそれぞれ飛行機で東京に向ひましたが、出発に先立つてタイ國側の主席全權ブリン・スワンワイ・デアアコン氏は、去る一月三十一日、會議に臨む抱負を次のやうに語りました。
「タイ佛印の紛争は、日本の好意ある調停により近く構和會議が開催される運びとなつたが、東亜共榮圏の確立をめぐり日本がこの紛争の調停に起つたことは極めて自然であ

る。タイと日本は最近特にその親善關係をまし、タイにとつてはこの上もない理解者であり、又佛印も日本とは深い關係を有してゐるので、日本が紛争解決に乗り出したことはまことに、意義深いものである。東京會議に對する全國民の聲は、これまでタイが佛國にうばはれた土地の回復にあるが、會議は非常にデリケートであるからこゝで確言は出来ない。自分は代表の一人として國民の期待に副ふやう、最善の努力を拂ふつもりである。佛國側代表ロバン氏とは前の國境確定會議で顔を合はせてゐるし、個人的にもよく知つてゐる。」

悟を決めてをりますから、停戰協定は日本の情あるとりなしによつて、必ず平和のうちにまるとなるものと、そのなりゆきに對しては多くの望みをかけられてゐます。

又、佛國側代表ロバン氏も、タイ代表におとらぬけなく、な

臺灣總督府情報部	佛及領南	2.00
臺灣總督府情報部	佛及領南	0.80
臺灣總督府情報部	佛及領南	0.80

發賣 臺灣時報發行所



戰時經濟と國民貯蓄

森岡憲爾

むだを省いて貯金せよといふことは何も時と時節を限らない大切な心がけであるが、今日特に喧しく之が要請されてゐるのは、嚴肅な而も國家の興廢をも賭す戰時經濟乗切り上放任が許されなくなつたからである。即ち引きつゞき二百億圓臺の大豫算(一般、特別會計を合せ)を經理し、その過半を新規内國債で賄はねばならないわが國現下の財政經濟圓滑運営のためには、國債消化、生産力擴充と脱み合せた貯蓄奨励が強化徹底されねばならないのである。

従つて現今國民に要請される貯蓄の意義は、過去に於て唱へられた勤儉貯蓄の意味とはその性格が稍や異つてゐる。過去の貯蓄奨励は大體個人々私經濟の改善にあつたが、今日のは寧ろ公經濟のためであり、個人の立場に於て好むと好まざるに拘らず、舉つてなさねばならぬ性質のものである。國民總體の總力を以て節約貯蓄をなすことにより非常に困難な公債操作物動計畫等もうまく調整され、インフレの防退、生産力の擴充、國防の強化も期せられるといふものである。

さてこの貯蓄奨励につき、政府は戰時財政政策遂行上、前々年度より國民に消費の節約、貯蓄奨励指導を始め、十五年度は百二十億圓、十六年度は更に百三十億圓を目標として運動の強化徹底を期してゐる。
臺灣總督府に於ても中央と呼應して十五年度に二億圓の貯蓄を目標し、六百萬島民に呼び掛け、之が達成に協力方を要望してゐるのである。十五年度は既に十箇月を経過したが、貯蓄の實績をうかがふと、年度始め、即ち四月一日から十二月末迄九箇月間に於ける増加額は(一月下旬總督府發表)銀行預金が三千五百三十四萬圓、金錢信託が百一萬圓、信用組合貯金四千四百五十四萬圓、郵便貯金八百二十二萬圓、郵便年金九萬圓、簡易生命保險料五百六十二萬圓、無盡會社資金九十五萬圓、

生命保険準備金千四百九十二萬圓、私人の有價證券投資四千萬圓等で合計一億五千六十九萬圓の多きに上つてゐる。之を前年同期間の増加額一億一千三百七十九萬圓に比べると三千七百萬圓、即ち約三割強の増加で、當局の目標三億圓に對しては七割五分に當り、あと五千萬圓を残すのみとなつてゐる。

前年に比し金賣却の激減とか、現金取引の増加などの事情あるに拘らず、既に之だけの成績を挙げたことは相當なものと言へる。之は異意本島經濟界の底力と島民の協力の現はれとして欣びにたへぬが、右増加の内容竝に最近本島經濟界に鑑みると、あと三箇月を以て五千萬圓の増加を所期することは仲々の努力を要するものと思はれる。

X X

總督府當局の貯蓄勸奨方策を見るに、相當豫算も計上、地方官願、民間團體等と十分連絡し、非常な努力を拂つてゐることを認める。民間側も相當の協力はしてゐるがまだ、理解と協力の熱意が足らず、普及徹底への餘地が非常に多いやうに思ふ。例へば愛國貯蓄運動の主軸をなす國民貯蓄組合にしても既に七十五萬人の組合員と五千四百萬圓の貯蓄を擁するに至つたとある。然し之は豫定目標に對して年度四分の三を超過して未だ二分の一にも達してゐないのである。ひとり貯蓄組合のみでないが、此際當局者も一般島民も共に國際情勢の推移と國內事情にも鑑み、戰時貯蓄の緊要性と意義を理解し、今一段の奮發以て強化徹底への再出發を圖らねばならないではないか。

X X

國民貯蓄の指導、勸奨策について、三具體的に言ふならば、まづ組合を恒久施設とし、又機構を全島的に整備することが必要である。例へば地域の組合は、今後市街街庄を單位とし、區及び部落には支部を設け、各種金融機關とも緊密に連絡し、又貯蓄金割當等も各自能力に應じ率を引上げ、天引貯蓄の強行更に給與をその源泉に於て吸ひ上げ強請貯蓄せしめ、通貨の流通過程を可及的に少なからしめることを根本對策とせねばならない。又組合貯蓄の類は之を統率する指導者の理解と熱によるところ大であるから、之らの方面についても認識と實踐につき再教育し、更に判つてゐて案外實行しない有識者や富裕階級に對し、特に全幅協力せしむる方策をとる要がある。特に餘裕があれば死蔵したり、好んで投機に散する風習ある本島人を善導し、貯蓄若しくは公債の買入を強請し、眞に超非常時下

の國民たる覺悟と熱誠を茲に示さすべきであると信ずる。

X X

とにかく國運の興廢をかけるこの重大時局下に於て、かくも消費生活規正の喧しき折に拘らず、依然市井は、現にお互が見る如く商店街に於ても、飲食遊興部門に於ても平時同様否それ以上の股賑を續けてゐるではないか、この事實は要するに如何にまだまだ消費節約、貯蓄獎勵の餘地が多いかといふ證左であると見ねばならない。

若し臺灣と言はず、一億同胞が眞に臣道實踐の赤誠を以て、その耐へ得る最低生活に甘んじ、物資と金を現に費やさず、之を國債消化と生産力擴充に當て、ゆくならば、百億豫算も二百億國債も何ら恐るゝところはない。政府支拂は殖へても發行尻が膨張しても、所謂悪性インフレーションの恐れは絶対にな

い。一われ、個々の貯蓄は零細でも國民全體が只管之を實踐せば、超非常時切抜けは易々確固たるものだ、そして、この決心と實行こそ戰時國策遂

行の原動力である。一人と雖もこの國民運動の隊列から離れないことを希望して已まない。

科學 寸話 空氣と鼻水の話

臺北の臺灣銀行の眞向ひに、陳瓦造二階建の古風な家がある。これは醫學博士山崎博士の病院である。山崎博士は非常に話の上手な人で、このお医者さんの話を聞いてゐると病氣で減入つてゐる時でも急にほがらかになつて来る。以下は山崎博士のお話の一節である。

洋服の胸のポケットに白いハンカチを挿んでゐるのは一寸ハイカラに見えるものだ。あれの起りを考へて見ると面白い。一體西洋人は男と女とが互に手をつ

ないで歩く風習がある。男は左の手、女は右の手を肘の所で組んで並んで歩くのである。日本あたりでこんな風俗を見たら噴き出してしまふが、その場合に一寸汗が出たり、鼻水でも出たら、男は右の手で（左の手は組んでゐるので使はれないから）今のハンカチを取つてこれ軽く拭けばいいのである。西洋ではそれが日本一殊に臺灣ではさうは行かない。西洋（大陸）は空氣が乾燥してゐるから汗が出て、鼻水が出て大

したことはないのであるが、日本のやうに空氣の湿度の高い所では一殊に臺灣などは濡なす汗は出る、風でもひかうものなら鼻汁は無やみに出て来て、とても一枚のハンカチ位では始末のつくものでない。ゾロリと出て来るやつを何とか始末をつけやうとすればそれは胸のポケットなどに收容出来るものでなくなつてしまふ。まあ、胸のハンカチは日本では一いや臺灣では殆ど意味のない風俗なのである。……何でもかんでも西洋流でさへあればいいものであるといふ考の人に、言ふて聞かせたい話である。（中絶）

南海島の現状を語る

八田 與一 臺灣南島總督府技師長

一、地質と植物

海南島は臺灣より日の出が一時間遅れる程西にある、温度が二度程高い南の島であります。大きさは臺灣と同じで、臺灣よりも支那大陸に近いのであります。

島の形はジャガサを水に浮かした様で、中央山脈である七股嶺、阜嶺、馬嶺等の山脈が東西に通なつて、島を北部と南部に分けて居ります。

此等の山脈は南の方に片寄つて居りますから、北部に平地が多く南部には少ないのであります。サツマ諸島の形をした臺灣の中央山脈が、南北に長く通なつて居つて東に片寄つて居るので、臺灣では西海岸に平地が多く東海岸に少ないのであるのと

同じであります。

臺灣の山の地質は、殆んど近い時代に出来た第三紀層でありまして、軟かい水成岩でありますから、容易に風化しまして土砂を押し流し、適当な勾配を持つた土の多い田畑としては適しい沖積層の大平野を造りましたが、海南島の山は殆んど古い花崗石から出来て居りまして風化し難く、少量の砂を流すので沖積地帯の大きなものを造つて居りませぬ。

平地と云ひましても古い花崗岩が何百萬年の間に徐々に風化して、波の様な形をした緩い傾斜地を造つて居ります。此の波状地は表土三〇〇程度は柔かでありまして、其れ以下は錫礫でなくては鋤き起せぬ程堅い筈で、水も通じませぬ植物の直根

も通じ難いのであります。

此等古い花崗石の風化したものは石英質の多い土の少ない土砂であります。眞白の石英のみの砂地も所々に見る事が出来ま

す。此の表土は降つた雨を殆んど吸ひ込んでしまひますので、雨水は表面を流れて河を造る事が出来ず、凹地のない殆んど平坦な波状丘陵地を残したのです。此の地下三〇〇程度に溜まつた雨水が、除々に低い所になつて湧水となつて現はれる湿地

に、稻を植ゑるのです。濕田でありますから收穫も雨量の順調な年で一町歩六石位であります。

波状丘陵地の丘の場所は、人家に近い所は草原で、人家のない所ではクマヤシの粗林であり

ます。原始林でも北部では雨が多いので相當密林の形をして居ります。

或る地方には噴出した玄武岩で、花崗石を覆つて居る地帯があります。玄武岩の充分風化せる所は砂質壤土で、農作物には良い土質であります。此等の地帯は土質が多いので雨水は滲透せずして表面を流れ去り、湧水として残る事なく純然たる看

天田になるのです。但し海南島では眞の看天田は成り立たぬので、其れは稻の發育中五〇糶一〇〇糶しか降らぬ月が毎年あるので枯れるからであります。

故に之等の地方は深き草原となつて、利用されては居りませぬ。玄武岩の風化が充分でなく、ポロ／＼の石塊の地帯が海口附近に二萬町位あります。此の石塊の中の黒い土は植物に適して居



神代に於ける大和民族に似た人

るので、土人は何百年懸つたか判りませぬが、大變な努力をして此の石塊を取り除け、幅一五米高さ三米位に城壁状に積み上げて居ります。此の畑の中にはサツマイモ、オンライ、バナナ、野菜等を植ゑて居りますが、良く出来て居ります。此の畑の周圍即ち城壁の内側には凡て「ライイチ」を植ゑてあります。ライイチの木の数の多いのには驚くの外なく、夏のやめにライイチが熟したら、如何に海南島人はライイチを賞味するか想像に餘りがあります。

海岸地方には須磨、明石地方に見る如き白砂の砂丘がありまして、青松はないので殺風景な飛砂丘が海岸に通なつて居ります。而し所々に高雄灣や濱名湖の様な沼地、即ち沼を形成して

居り、此の沼の廣さは千町歩乃至三千町歩の面積を有して居り、深さは五米以内であります。此の海岸の新しい砂丘から一單位奥の方に、幅二料長さ數料に互る平坦なる砂原があります。昔の砂山で風に吹き飛ばされて平坦になつた所で、土が殆んどありませんからサボテン類、棕櫚類しか成長せぬと思ひます。陵水や黄龍や北黎等の町は此の種の砂地にあり、縦貫道路も之を走つて居ります。見えるものは集團せる墓場と點在せる黄牛のみであります。

二、雨量と気温

次に海南島の氣候を臺灣と比較して見ます。陸地で雨の降るのは雲が山に近寄つて冷えるから降るものと考へて良いので



蘇東坡南海島開發恩人の祠を祀る

。臺灣の中央山脈は三千米以上あり、雲の雨を殆んど降らしますが、海南島の中央山脈は千五百米位しかありませんので、全部の雨を降らす事なく、山を越えて他の方へ移り、僅かですが他の地方で降らし、従つて海南島の雨量は臺灣

見る如く草は枯れず、木は其の成長を甚だしく阻害されません。海南島南部地方に原野が多く耕地が少ないのは、斯る理由であります。

三、未熟な農業

海南島の水田は臺灣より多く、四〇萬町あります。二毛作地がどれ程あるか判りませんが、十萬町を下る事はありません。故に、植付面積は四十五萬町歩を下る事はありません。

天田と云ふのは臺南州に澤山ありましたが肥料を入れては経済的に引き合はぬのです。臺灣の看天田の收穫は平均一町當り九石であります。地方の劣つた湧水田でありますから、一町當り五石位しか獲れませぬ。植付面積四十五萬町歩で、産米は二百二十五萬石になります。輸入米は十五萬石であると言ひますから、海南島人の需給米は年二百四十萬石である事になります。海南島の農民は糊と糞は粥を食つて居るさうですから、一人當り消費米は年八斗と見做して良いので、米の生産消費から逆算しますと、海南島の住民は三百萬人となります。もし二毛作田が十萬町歩以上ありましたら、海南島の人口は三百五十萬人もある様に想像されます。

朝晝に粥を食つて居る農民に、米食をさせましたら、嘉南大圳工事頃の臺灣と同様労働力は更に増加するであらう。

四、農家と作物

海南島の細地面積は、僅かに三萬町位しかありません。而し單期水田三十萬町位は、多に畑作を致しますから、甘藷や落花生や野菜には不足する事があります。甘藷は一年生で一町當り三萬斤位しか取れず、全部黒

糖にして島民の需要に應じて居ります。棉も獎勵したと見えて、僅少ながら全島至る所にあります。椰子林は海岸地方に多く、農家の周囲には必ず植えてあつて、其の肉と云ひ汁と云ひ甘味良く、島民の菓子代用食品となつて賣られて居ります。

海南島の豚は黠の良い黒色の毛を持つた腹部の白い小形の可愛い種類であります。肉は脂が多く上等です。與へる食料は貧弱ですが肥えて居ります。黄牛は臺灣より小形ですが、粗悪な食料に耐え、澤山居ります。水牛も山羊も臺灣と同様であります。水牛には白い毛のものが居ります。馬はボネーを輸入して育成して居ります。此の馬は牽引力が強く人を乗せても良く走り、粗食で耐熱で將來の熱



黎人の母

帯用馬であります。雞と鵝と鵞は臺灣同様です。薪炭材は豊富でありまして困る事はありません。クヌギやライチーを用ひて木炭を造つて居りますが、未だ製法未熟で良くありません。

には椰子を使つてあります。土人家屋には臺灣の様な土塊造りはありません。粘土がなくて堅まらぬからと思ひます。悪い土人家屋は壁を塗つてあり、良い農家や町家は全部灰色の煉瓦を石灰で積んだ煉瓦造であります。町を遠くから見ますと、白亜の堂々たる市街に見えます。市内に入ると灰色で淡水街へ行つた様な廢都の感じがしま

す。其れでも各市街は何れも數年前に市區改正をやつて建て換へたものです。

農家の各部落は凡て竹藪で周りを囲み、土匪の襲來を防禦して居り、大部落には必ず望樓を造つて監視をした跡があります。其の望樓も數年前に造つた計りと云ふのがありますから、海南島は近年迄土匪が居つたものと見えます。古い銃器ですが各家にあるらしく、自警の必要があつたのです。

五、有望な河川

次に海南島の河川に就て述べますと、中央山脈の大部分に降つた雨を流す河は、南渡江、昌化大江及萬盛河であります。凡て其の源を五指山附近に發し、南渡江は遠く北西に流れて

海口に出ます。海南島第一の大川であります。昌化江は五指山の南から西に流れて中部の昌化に出る第二の大川です。萬盛河は東方を北に流れ、東に折れて嘉樂で海に出ます。萬盛の河よりも流域面積が廣く、流量が多いのですが、河床は狭くて緩いのです。

流れが緩いと言ふ事は、花崗岩地帯の特長で、揚子江以南は佛印迄も同様であります。萬盛の河の山間部は四十分の一から二百分の二の勾配を持つて居りますが、海南島の河は五百分の一以上二百分の一の勾配しかありません。従つて水力電氣は臺灣の様に陸道式では成り立たず、滿洲に於ける如く堰き上げる堰堤式でなくてはなりません。河床が堅硬で基礎が良いので、貯水池が容易に出來ますから、何れの河の電氣も臺灣より安上りで出來ます。

各河川の河床は殆んど兩岸の平地部より一〇米低いのです。而して暴風時に於ける降雨も少く、表土は雨水を吸ひ込んで一時貯留する事が出來ると、畚界にも平地があつて燒畑をする必要がないので、山地は森林で覆はれて居りますから、洪水量は臺灣の三分一位しかなく、洪水は一〇米上の耕地に氾濫する事はありませぬ。従つて河川の堤防を要する所は至つて少ないのです。洪水量が少ない換りに、一〇米餘り高い兩岸の平地に水を導くためには、長い導水路が必要になつて來るために、自然勾配を利用導水する仕

事は困難であります。混濁土や醫器機を持たなかつた島民は、河水を利用する事が出來なかつたので、相當豊富な河水があるにも拘らず貴重なる水を河に放流した儘です。

六、港灣と交通

海南島の海岸には砂山が多いので、淺淺であり、且つ其の上に珊瑚礁が發達して居ります。近年海南島の沿岸は沈下しつゝ、あるので、珊瑚礁は頭部を海上に現はしません。即ち暗礁であります。大きな舟は仲々近寄る事が出來ません。唯、榆林港、青洲港、白馬井港の三つが見る可き港となつて居ります。

榆林港は鶴賀や其陸の如き自然の良港であります。商業港漁港として使へる程度で、大



臺南神社參拜

長谷川總督は地方初巡視のため、去る一月十八日朝海軍機をしたて、臺北空港を飛び立ち、海岸つたひに南下、石井内務局長の説明で空から西臺灣の大綱を視察しつゝ、九時三十分には早くも高雄飛行場に初巡視の第一歩を印し、連日午前九時から午後六時まで、一月とは思へぬ暑さの中を高雄、臺南の兩州と澎湖廳の主要施設を視察、訪問、應答など、五十餘回に及ぶ六日間に互る多忙な日程にもかかわらず、些かの疲れも見せず、二十三日午後九時二十五分臺北驛に歸着された。續いて二十八日からは、四日間に亘つて新竹、臺中兩州下の初巡視を行ひ、各官衙、直轄學校をはじめ、主な施設を具さに視察し、三十一日夜歸北された。



上・安平ゼーランヂヤ城駐にて
下・嘉義林業試験所にて

上・警社樓臺に於ける勳行報國賞
年隊の接見
下・日月潭取水塔にて説明を聴取
する總督



りませぬ。部落は凡て水田より相富離れた丘陵地や高原地にあります。此等丘陵は砂地で雨水は速かに地表下に吸ひ込まれ、地表には水溜がありません。

湧水地の湧水は石英砂で漏された水ですから良水です。土人は此等の浅い井戸水を使つて居ります。丘陵地で深い井戸を穿つて揚水して居る所もありません。

が、之は薄赤く濁つて居ります。良く濾されて居りますから、細菌は少ない筈ですが、手拭は赤くなりません。此は花崗岩が其の儘風化されて土の少ない石英砂となつて居る所から僅かの水を無理に汲み上げるため、石英盤中の土を吸ひ出すからであります。

す。大きな町は人家が稠密であるため、浅井戸の水は田舎より悪い様です。市には完全なる水道施設する要がありません。

道施設する要がありません。臺灣の田舎にはアメーバ赤痢が多いのですが、海南島では聞きません。私が下痢をした折診察を受けた醫師に、アメーバ赤痢ならずやと質問しました所、海南島にはあまりないからアメーバ赤痢ではないでせうと云はれました。

冬は臺灣でも蚊が少ないのですが、海南島の十一月は蚊が實に少ないのです。在住日本人は昔蚊帳を釣つて居りますが、蚊やりをたい居らぬのです。臺灣視察に來た内地人は何處へ行つても蚊やりを煙らしますが、我々も海南島で蚊やりを煙らした組であります。多分笑つて居られたと信じます。雨にはもつと蚊が多くなりませう。田舎で三十人程集まつた日本人に「マ

ラリヤをやつた人があります。かと思ひましたら「誰だマラリヤをやつたのは」と聞かれます。誰かでありませうとの答へに「オイ誰某、御前はマラリヤをやつたな、何時であつたか」と問はれます。「はい二年前であります」との答でした。此等の方々は二年近くも海南島の田舎に居られた人達であります。即ちマラリヤになつた人は探し出す程度であると云ふ事です。

私が臺灣で仕事をした現場の中、最も悪かつたのは高雄附近九曲堂に於ける水道工事でした。マラリヤを患つて發熱中のものが、毎日三割ありました。最も少なかつた嘉南州大島山頭貯水池工事では、随分防遏に努めました。マラリヤに依る缺勤者は常に一割でした。保衛者は

七割もありました。マラリヤの豫防には窓に綱を張るより方法がないのです。チブスは幾分文明病ですが未だ流行して居らぬ様です。

海南島は湿度が高いと聞いて居りましたが、其れは北部である海口、文昌、東部である嘉積附近の話で、而も北の雨の多い折は北部である基隆、宜蘭や東部である花蓮港は濕氣が多いのです。

海南島でも南部である三亜の如きは、夜中洗濯した靴下が室内で潮迄に乾きました。大陸の内部の様であります。

九、食料と日用品

食料及日用品は大きな町は云ふに及ばず、田舎で所々に市場

があります。百姓は農産品を持参して市場で賣り、日用品や魚や肉類を買つて歸る所です。美味な豚肉、牛肉、鯛、サヨリ、

白魚、新鮮な野菜類、甘藷類等澤山あります。現地のものを調理して食べれば甘くて身體に良い筈です。而るに現地の人は日本

から行つた罐詰を珍重します。日用品としては純綿の手拭やシャツ、牛皮製品等無細工であくどい色をして居りますが、我慢

甘藷混食を

西洋の糖に「最後の一滴は勝負を決定する事能はず、最後の一粒の麥こそ勝敗を決す」と云ふ事がありませうが、この一言で戦時に於ける食糧が如何に重要であるかと云ふ事がわかりになるでせう。

甘藷混食を

勵行せよ

米穀局業務課長 松野孝一

西洋の糖に「最後の一滴は勝負を決定する事能はず、最後の一粒の麥こそ勝敗を決す」と云ふ事がありませうが、この一言で戦時に於ける食糧が如何に重要であるかと云ふ事がわかりになるでせう。

要するに今日私共と與へられたる課題は、あらゆるものを食糧陳腐に取り込む事でありませう。即ち臺灣では甘藷食の勵行が食糧問題解決の鍵となるのであります。私はこの意味に於て國民の食物に對する考へ方を改めて戴きたいと思ひます。

すれば困らないのです。果物は臺灣より味が劣ります。砂糖は黒砂糖ですが菓子の様です。油は相當あると見え何處でも天ぶらを揚げて居ります。海南島で仕事を始める時最も困るのは労働者です。私が嘉南大圳をやつた時も労働者が問題になりましたが、十五錢日給を増額する代價として、晝の粥食を廢し辨當大きさを決定することを持参する事にしましたら、半年も立たぬ中に労働力は倍加するし労働者も増加しました。海南島人が三百萬人六十萬戸としまして一戸の柱石である主人に、年一石を増加してやりますと、労働力は倍加し三十萬人の労働力が餘りませう。年一億人の労働力です。即ち僅かに六十

免れません。こゝに於て私共は食糧の減産を防止し、積極的な増産を策し、他方消費を節減するのみか、更に進んで消費の合理化を圖る事が、戦時に處するの務めでない限りはなりません。消費節約につき申上ぐれば現在日本人は、兎角米食にのみ執着して居ると云ふ事實に根本的な解決の鍵が残されて居ると思ひます。

日本人も日露戦争前までは概ね大麥系統のものを中心にしてゐたのですが、米産の奨励に伴つて、漸次米食を主食とするやうになつたのであります。

要するに今日私共と與へられたる課題は、あらゆるものを食糧陳腐に取り込む事でありませう。即ち臺灣では甘藷食の勵行が食糧問題解決の鍵となるのであります。私はこの意味に於て國民の食物に對する考へ方を改めて戴きたいと思ひます。

萬石の米を餘分に食せしめたか
はりに一億萬人の労働者を得た
事になります。土木では工事費
は労働賃金の三倍であります。
一日日給一圓としますと、三億
圓の工事が年々出来るのです。
工場建設等では六倍になります
から、六億圓の工場を建てる事
が出来ませう。此の半分に見積
りましても毎年海南島人で相當
の仕事が出来ます。

十、島民と慰安

海南島には海口以外殆んど慰
安施設がないのです。海口には
甘いものを食はせる洋食屋も支
那料理も日本料理店もありま
す。喫茶店も映画館も女付宿屋
もある筈です。
而し其他の都市には殆んど何
もありません。三亜にしても飲

食店らしいものが二軒位ありま
すが、十二、三歳位の女の子が
「何要りますか、焼鳥ありま
す、ビール一本注文出来ます、
酒ありません」と云ふ程度です。
海南島へ来て六箇月も働いて相
當金を持つて居る漁師や土工夫
が澤山居りますが、無味い焼鳥
をテーブルの上に飾り、ビール
一本で三時間位も焼け蒸遊びを
やつて居ります。どの机も手を
打つて歌つて歸らぬので、遅く
行くと腰掛がありません。而も
十時頃になると店終いで追ひ出
されるのです。喧嘩が多い事
せう。前線近くで働いて居る青
年は時々歸省させなくては神経
衰弱になると思ひます。
活動寫真を古いものでも良い
のですから海南島人にも見せて
やりたいと思ひます、私は三十

日間海南島に居りましたが映画
のあつた日は一日でした。而も
其の日は用事があつて見る事が
出来ませんでしたから、二月に
一回位しか見ない人が多いでせ
う。
海南島航路は定期船がないの
です。我々は役人ですから比較
的楽に日数を空費する事なく渡
般致しましたが、一般事業に従
事される開發者達は、随分困
られる事であらうと同情に絶え
ません。臺灣總督府の命令航路
が出来るか、船會社が自發的に
定期船を運行されなくては、開
發は遅れ勝となるを免れぬでせ
う。
電燈も事業者には餘り行き渡
つて居りませぬ。ロソクで其
の日の仕末を書き、明日の案を
立てる様では仕事の進行は阻害

されらと思ひます。仕事はした
いが燈火が暗いから飲みに行け
と云ふ事になります。従つて其
の日の仕事も無計畫に始まる事
でせう。

十一、黎人の奇風

海南島の住民を大別しますと
漢人二百五十萬人、黎人苗人合
せて五十萬人約三百萬人であり
ます。苗族は昔支那の南部に住
んで居つた人種で、今でも廣東、
廣西、貴州、雲南、廣西等に多
いのであります。始めは穴居族
で南嶽の勢は穴の形ださうで
す。春秋時代にマレー種族が米
を持つて海から侵入し、揚子江
附近で漢人と接觸したもので
す。海南島の黎人は此のマレー
族で、山地の苗族と平地の漢人
との間に居ります。頭部にチヨ

時局に 密する言葉



明朝國語の 臺灣へ

英語が世界各國の上に君
臨してゐた時期は最早過ぎ
去つて、日本語が大陸に、
南洋に進出し、この數年の
中には東亞共榮圈をまで風
靡しようとする今日、今更
にして貰ひ度いものと思ふ。
臺灣に於ても近
く皇民奉公會が結
成されること、
思ふが、それと同
時に系統立つた常
會なども實施さ
れ、この部報などは重要な役割を果すことにな
らうが、それについても國語を讀み、國語を話
す事が、最も重要な事になつて来る。
私はこの數年中には、必ずや明瞭なる「國語
の臺灣」が出現することを心から希望してゐ
る。(誌)

昭和十六年一月



豚改良の 体験談

私の養豚法

どこでも農家の副業として豚を養はない家は殆んどありませんが、殊に吾々女子は家業を助けるかたは、養豚にはけむことは真に適切なことと思ひます。特にこの時局に於て私共が先立つて養豚をなし村中の人達にも盛に飼はせるやうに努めることは、産業報國の趣旨にもかなつて、誠に結構なことと思ひます。然し乍ら老農部落民の養豚を見る時、一箇年餘りもかゝつて僅か肉豚百斤内外しか出来ず、しかも十分肥育せぬうちに賣るやうな状態で、その爲に肉豚が拂底すると云ふ現状で、實に面白くない現象であります。國家的生産から見ても重大な問題であります。今少し養豚法を考究し、大いに奨励しなければならぬと思ひます。

私共の地方は地勢上養豚に有利な點が多うございます。それは未開の山地或は傾斜地を拓き、容易に甘藷が植付けられること、藪の取り易いことであり、また、他の比較的高寒地方で、乾燥地であることや、輪間作の出来ること等、割に恵まれたよい條件が多いのであります。今私の家の養豚について部落民と少し異つてゐる點を御参考までに申し上げたいと思ひます。

養豚には母豚と肉豚の飼育がありますが、私が経験してゐる肉豚の肥育について申上げるこ

とに致します。先づ第一に豚の品種を選ぶこととあります。何と云つても現在はパークシヤ雑種が一番よいのであります。パークシヤ雑種は在來種の親豚にパークシヤを配合したもので、體質強くしかも早く太ります。昨年九月私の家はパークシヤ雑種の小豚を六頭飼ひました。そして今年の三月頃約半箇年間に大きいのは百五十六斤、小さいのも百四十斤以上に肥育したのであります。どうしてあんなに早く肥育することが出来るのかと、部落の人も驚異してよく見に来る程です。別に秘訣と云ふ程のことでもありませんが、私の體験に依り當地方の養豚と異なる點を一二申上げますと、第一に小豚を如何にして大きくなすかの問題ですが、私は太らせ

るよりも身長を或程度まで伸ばすことを考へ、それから太らせるところを行ひます。一番問題になるのは餌です。小豚は七八十斤になるまで餌に豆粕を混ぜて食はせることです。豆粕は水に浸して軟くし、甘藷の蔓と一緒に焚いて食はせるのであります。家の家は薄く削つて餌と一緒に焚いてやつて居ります。勿論豆粕のみを食はせるのではなく胃腸を丈夫にするため雜草、芭蕉の葉、木瓜等を混食させて置きます。

さうしますと二、三月でぐんぐん大きくなります。次に豚が大きくなり八十斤位になりますと、今度は太らさなければなりません。もう豆粕をやる必要はありません。この時甘藷或は切干の甘藷と藁を混ぜて焚き、糠

を入れて食はせますとすんぐん肥えます。それから豚舎の問題ですが、豚小屋は肥料をとるやうに作り出来るだけ廣場をとり、運動場、糞所を別にしなければなりません。一般にコンクリートで堅めますが、當地方では丸太又は板敷で結構だと思ひます。始終掃除し、常に清潔を保つことが大切です。當地方の豚舎を見ますと、糞が一杯溜つて肥溜が溢れ、豚舎内が蒸り、室内が暗く通風採光に乏しいので、豚の生育に悪いことは申すまでもありません。又年が年中同じ餌をやり偶に甘藷を混ぜる位のもので發育の時期に適應しません。時たま鹽分、石灰、炭をまぜてなめさせることも必要です。要するに部落の人は無資本で家に出来てゐる食料しかや

らないのであります。豆粕を食はしてゐる家は極く少ないのであります。豆粕も程度問題ですが、私の家は六頭で豆粕十二枚の時一枚最高三圓でした。が、それでも豚の肥育の早いこと、價格のよいことを考へますとまだ得です。

地方の人が一箇年乃至一箇年半かゝつて始めて賣り出すことを考へると、半箇年で其の勞力利潤の有利なことから考へて、豆粕は一頭について二枚當りから、金利から云つても問題になりません。

農家として自給肥料に堆肥を作り、農耕法の改善を行ふことは未だ實行が出来ないのを遺憾に思ひますが、將來養豚を副業として本事業を進歩發達させ、

特に時局から豚肉の微用、肉の加工、肥料の自給自足等、養豚事業は前途遠く、質に於ても、量に於ても價格に於ても、他地方に負けないやうにしなければなりません。

私共女子青年團員は勿論、一

般の婦女子に至るまで、地方産業の爲大いに努力しなければならぬことと思ひます。

高尾州六雄女子青年團長 渡分團

歐陽氏 敬啓

親豚の飼育について

一、研究の動機

養豚を農家の單なる副業と考へるのは平時のことであつて、戦時に於ける今日豚皮が皮革として、又豚肉が戦地に送り出され、金肥の入手難に際し、豚糞が貴重なる肥料となつた現在に於ては、養豚は實に國策に副ふ農家最大急務の副業である。最近時代の趨勢と飼育者の目覺によつて豚舎が建設され、

肥料の重要性が認められて來たが、飼育の方法、手數、經費等の關係で未だ積極的に改善利用をして行かうと言ふ域には達してゐない。

そこで私は農家の豚飼育によつて肥料問題を解決し、農村經濟を何とかして有利に助長するやう商賣の傍ら飼育を始めたのが研究の動機である。

二、研究の過程

先づ品種の改良には優良なる子豚の普及が必要であり、それには優良なる親豚を選ぶことが大切である。そこで品種の優良な親豚に留意すべく、實際飼育者の研究物を参考にし、附近の部落を廻つて親豚として最もよい本島種豚を二匹選擇して飼育したのである。その中親豚一匹は六匹生み、他の一匹は九匹生んだが、數日後一匹踏み殺され都合八匹宛で研究した。第二回目は一匹の親豚は六匹生み他の一方は十四生んで、理想通りに八匹宛と見做して研究をしたわけである。

そして日々の飼料の配合給與、收支決算、期間に就て充分なる注意を拂ひ、支出を減じ収入の増加を計るやう研究に努めたのである。

研究の期間は僅か一箇年餘に過ぎないが、其の間に附近の部落の優良なるものに留意し調査研究して見ると、その成績は略々一致してゐる。その成績を表記すれば次の通りになる。

A 繁殖

1. パークシヤは十三箇月に二回繁殖出来るが、種豚は順調に行つても年に二回出来るだけである。

2. 一回の頭数は一定しないが、現在は平均八頭以上である。

(平均頭数を増加することは、種付日に交尾を日に二回行へば出来るが、母乳不足の點で問題となるから今後の研究に俟つ)

3. 親豚は三年以後より五年までがよいやうである。本當に

親豚としてよいのは三年目からである(理由は生んだ子豚の體が丈夫で發育がよいから)

4. 仔豚は離乳後三十日乃至三十五日間に賣却するとよい。

B 飼料

飼料に就ては全養豚經濟に及ぼす影響が多く、全養豚の仕事の主要なものであり、收支の影響が最も大きいから一番注意を要する。これが研究の大切な所である。

1. 飼料の種類

従來の飼料は甘藷、甘藷の藁、

糠飯が主であつたが、現在は科學的に研究されて豆粕、糠、玄米、米糠等が用ひられるやうになつた。

○豆粕はそのまゝ田地に施すよりも、豚を経て糞にしてからの効果が遙かによいことを實地に體験した

○糠は飼料として上の方であるが、高價にして引合はない。

○玄米は豚の重量を増す上に皮膚がきれいになる。

○米糠は玄米に次ぐ貴重な飼料ではあるが、多少食欲を減らす

才識がある。

○甘藷及甘藷藁は消化がよく價格が安く栽培が容易であるから、飼料には最もよい材料である。併も農家はこれが一番豊富に出来る。そこで飼育者はこれらの飼料を適當に配合してやる必要がある

が、特に收支の計算から行けばどうしてもその地方にとつて最も經濟的なもので然も豊富なものを利用しなければならぬ。そこで我が農村地方で最も經濟的で適當なりと思ふ飼料をあげると、大體次の通りとなる。

2. 親豚の飼料(一匹につき)
飼料 一日一頭 現在の價格
豆粕 〇・五斤 五錢
豆 粕 三〇斤 一〇錢
(甘藷藁) 三〇斤 一〇錢
甘藷藁 約三〇斤 六錢
計 二二錢
甘藷の藁のない時は甘藷を二斤増せばよいと見て六錢になるが、實際の藁は一錢位のものである。従つて一日の價格は事實二二錢以下である。

3. 子豚の飼料

出生経過日	一五日	二五日	三五日	四五日	五五日	六五日	七五日	計	金額
十日間の豆粕平均量(八頭)	—	—	二八斤	三五斤	四五斤	六四斤	八八斤	二六〇斤六枚	一八圓
十日間の甘藷(養)平均量(八頭)	—	—	三〇斤	四〇斤	五〇斤	六八斤	八二斤	二七〇斤	九圓
十日間の生長平均量(二頭)	六斤	一〇斤	一五斤	一七斤	一九斤	二三斤	二五斤	(八頭)計	二〇〇斤

4. 飼料の作り方
前に挙げた甘藷や甘藷の蔓は、自家の勞力によつて出來たものを利用したもので、價格は現在の價格として最高限度に換算したものである。
甘藷は收穫期はそのまま煮て與へることにしてゐるが、然らざる時は甘藷を煮て與へることにしてゐる。
甘藷の蔓は收穫期は生のまゝ與へ、その餘分は細く切斷して干草にして貯藏し、入用の際一週間分だけ煮潰しに食料これを添めて與へることにする。
5. 飼料の給與
飼料の給與について特に變つた所をあげることにする。
イ、仔豚は豆粕を一枚そのまゝかぢらした方が定食時の食慾を増すから(細かく切

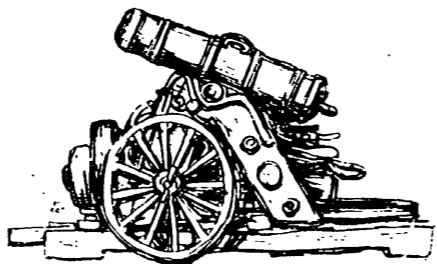
つて水に漬けたものよりも)結果がよい。
ロ、その他の飼料は適當の濕さの時に給與する(甘藷の蔓は生のまゝあたへた方がよい)
ハ、特に食醋を飼料給與時(定食時を指す)に少し滴らすことも食慾を増進することが出来る。
C 肥料(糞尿)
イ、價格は豚糞尿混せて計一萬六千円で、約二十四圓千五百斤が二圓五十錢の時(價)で運賃を考へずに五分の田地に施せば相當よい方である。金肥統制の今日、この豚糞を計算せずに自家田地用として施しても、粗約二割の増收は確實に出來るのである。五分の田地で年二期作の田地(甲當四十石の收入ある所)になる。粗が五石其の價格は實に四十圓以上である。この肥料

計算の結果により、親豚飼育よりも子豚飼育の方が肥料の方面に於ても豚の重量方面に於ても收益が遙かに大きいと言ふことを發見したので、あつさり親豚を二頭とも賣拂ひ、現在子豚の試育中である。
D 收支計算
1. 收入
一、子豚(雜種豚)賣却 十六頭(四百十三斤) 計 一六八・〇〇圓
二、子豚(雜種豚)賣却 十六頭(四百十五斤) 計 二〇三・〇〇圓
三、親豚(本島種)賣却 二頭 計 九八・五〇圓
四、肥料よりの増收 計 四〇・〇〇圓
合計 五〇九圓五拾錢
2. 支出
一、豆粕 三三枚 計 一〇二・七五圓
二、甘藷(甘藷) 二六〇〇斤 計 八五・八〇圓
三、甘藷蔓 二六〇〇斤 計 七・五〇圓
四、燃料費 計 四・七〇圓
五、親豚買入代 二頭 計 九五・〇〇圓
六、種付代(二頭計四圓) 計 四・〇〇圓
七、食醋其他 〇・七〇圓
合計 參百參圓五錢
3. 差引純益 貳百六圓四拾五錢
以上は過去一箇年餘りの間親豚を飼育した成績であつて、現在には雜種豚十五頭、二代雜種豚を五頭計二十頭飼育、専ら肥育法の考研中である。その成績も親豚飼育より遙かに望ましい所があり、その收益も今後大いに期待されるものがあると思ふ。
高雄州園子内青年團 林 瑞 輝

連載歷史物語

西郷從道

—[同二第]—



濱田隼雄

しかし、臺灣討伐の勅命はなかく仰せ出されなかつた。
明治五年の日本は、ひどくいそがしかつた。御維新によつて政道は正されたけれども、文明國として、外國と同等な位置に上るためには、先づ國內の經濟組織を、すつかり變へてしまはな

ければならなかつた。國民もちよん髭からざんざり頭になり、腰の刀をとつてしまふと共に、ものゝ考へ方さへ今までは別にしなければならなかつた。産業も軍隊も學校も、すべてが新しく生れかはり初めたばかりである。けれども、國內のことにばかりかま

つてもゐられなかつた。新らしい日本に目をつけて、その日本が強國になるのを、できるだけ押へつけようとする國に、先づ支那があつた。それからロシアがあつた。イギリス、アメリカ、フランスもさうだつた。
だから、臺灣で日本人が殺されたとなると、黙つてみてはゐられない。すてゝをけば、何だ日本は、といふことになる。大山參事、樺山少佐たちがむきになつて、征討軍を起せといふのも當然のことだつた。日本の國威を強くするため、ロシアや支那の手先になる朝鮮を討つべし、といふ議論も起つてゐたのである。
臺灣に軍隊をさしむけることは、どうしても必要であつた。
しかし、政府としては、その前になすべきことが山ほどあつた。
先づ第一に琉球の問題がある。

琉球は維新の前から薩摩藩に貢物を納め、明治四年の廢藩置縣の時には、鹿兒島縣の一部に入れられ、縣の役人も出張してゐたけれども、一方清國にも貢物を贈り、日本に属するの清國に属するの、まだはつきり定つてはゐなかつた。これが定らなければ、臺灣に軍隊をさし向ける名目が立たない。

この問題は、この年の九月に琉球國王が初めて東京に参り、明治大帝に拜謁を仰せつけられ、琉球藩王として華族に列するの恩命を拜することによつて解決した。

次の問題は、清國との外交上の交渉である。臺灣が清國の領土である以上、討伐の前に清國政府の責任を問はなければならぬ。政府は慎重であつた。外務卿(大臣)副島種臣が、自分から全權大使としてかけて行つた。そして、

琉球が日本の領土になつたことを認めさせた上、臺灣が化外の地であつて、清國政府は蕃人の殺人の責任は持てない、といふ事から、しからば日本軍が自由討伐してもいゝのだな、と宣告するまでに、翌六年の七月になつてゐた。

副島卿が清國から歸ると、さつそく政府の討伐方針は定つた。けれども出兵はすぐにはできなかつた。朝鮮問題のためである。西郷隆盛が参議の職を退いて鹿兒島に歸り、同じ征韓派である薩摩土佐出身の軍人が續々退官する事件が起つて、臺灣征伐どころではなくなつてしまつた。従道自身にしても、兄の隆盛に従つて鹿兒島に歸るべきか、東京にとどまるべきかの大問題があつた。

とは云へ、政府の準備はすゝめられてゐた。大久保利通、大隈重信の兩参議に方針を考へさせ、再び翌七年の二月にはなつたけれども、二月六日の閣議で遂に臺灣出兵のことが決定された。

ところが、又してもその月に佐賀の亂が起つて、本當に討伐軍が編成されたのは四月であつた。

出征の準備は長崎でやつた。都督に任じられた従道も、蕃地事務局長官になつた大隈重信も、東京から長崎に到着してゐた。

編成の仕事は、何しろ初めての外征だから大へんであつた。長崎の町はてんてん舞をした。熊本鎮臺から、歩兵第十九大隊の九州男子がのつしくと乗りこんでくる。東京鎮臺の第三砲隊が、ガラ／＼と砲車をひいて町を走る。それから海軍陸上砲隊も上陸する。征韓論問題で郷里に歸つた近衛兵や選卒(巡查)などを中心にして、鹿兒島で西郷隆盛が弟従道のために集めた歩兵の

補助隊、徵集隊の三百人も、朝鮮にゆくかはりに臺灣ぢやと、肩をいからして到着すれば、輜重兵、工兵等の仕事や後方勤務に當るために東京で募集した大工、鍛冶、藁、荷揚等の、五百人組と稱する人足の一隊もくる。

三千人以上の討伐隊で町は一杯になり、鹿兒島辨が怒鳴る。江戸つ子の啖阿が飛ぶ。港には絶えず汽笛が鳴りひびき、軍艦と御用船がすらりと並んでゐるし、波止場には米俵から薪木までの軍需品が積まれて山のやう。のろい團平舟が波止場と船の間を、ひつきりなしに往復する。

準備は大體でき上つた。すると又難題が起つた。

外國のおせつかいである。アメリカとイギリスだ。彼らは何よりも日本の勢力が南方に伸び、清國と戦つて勝たれては、と先づアメリカが文句を云ひ

立て、イギリスがつゞいて出兵の中止を強要し初めた。

政府は又考へ直さうとした。清國政府との外交交渉だけで、片づけようとか考へ初めた。

しかし、もう遅かつた。討伐軍の一部はさつさと出發してしまつたのである。

従道は政府が外國の干渉をうけて、考へ直したと知ると出發を急いだのだ。日進、孟春の二艦と運送船を先發させて、東京から中止させる爲に大久保内務卿がやつてくると、飽くまでも出兵を主張してやまなかつた。

征韓論を押しつぶした大久保参議も、今度は従道に大刀打ちできなかつた。

従道は眼底から、射るやうに参議をねめつけて云ふのである。

政府要路の諸公は、新しい日本の前

途を、どうして切り拓いてゆくつもりなのか。國內を治めることのみ氣を奪はれてゐては、國力はいつまでも強大となるものではない。内は勿論だが、同時に外にも伸びてゆくことを考へねばならぬ。内のみかゝづらつて、いつの間にか、歐米列強の屬國と化した國々のことを考へてみられよ。しかも、朝鮮の問題以來、國民の氣持が、外へ出よう／＼としてゐるではないか。

力を、ちよん切つてしまふのは、國家百年の大計ではない。今にして、朝鮮が朝鮮を討たずと定つた今にして、臺灣に出兵せずんば、若い日本の武威を中外に示す機會は、永久に失はれてしまふだらう。外國の干渉が何であらう。

彼らは既に日本を恐れはじめた。今、今うちに押えつけて置かうといふのだ。それを、この大事な時に、び

くくしてゐては、彼らの思ふつぽにはまりこむだけではないか。怖るゝに足らん。彼らに何ほどの事ができるのか。國の興る時、國民の力は、はちきれるばかり壯にして大なるものだ。その力を諸公は信じられんのか。それでも、とあらば、畏れ多いことだが、西郷は、野に下らう。一介の浪人とならう。そして、この軍艦を、この兵隊を私しよう。西郷従道は賊徒の首領とならう。儼は断じて征きます。いづれ日本は海を越えて、南方亞細亞にも發展しなければならぬ運命にある。儼は臺灣島に渡つて、その足場を築いて置きます。國家のために賊となることなら男子の本懐だ。外國には、かまはん、あれは西郷の叛逆、西郷は海賊になつたのだと云へばい。

これには大久保參議も、全く感動してしまつた。責任は俺が持つ、と明言

せざるを得なかつた。かうして五月十七日、従道に乗せた高砂丸は、旗をあげ、自信に満ちた力強い汽笛を鳴らし、長崎灣の波を切つて出帆したのであつた……。

それから七日目、目指す臺灣島は目の前に横たはり、先發隊の上陸した珊瑚灣はもうすぐである。

黙つて回想にふけつてゐた従道の、濃い眉毛の下の瞳は、いつか美しく輝いてゐた。自分の思ふ通りに事が運んだといふ満足した心持からの輝きはかりではない。偉大なる人が、重大な仕事にかゝる前によくみせる、あの、自分の力を信じ、自らを奪ひ立てせる時のひとりでに光る眼の輝きである。

岸田記者は、横に立つてこの従道の眼の光りをみとめた。頼もしい氣持で胸が一杯になつた。先刻は従道に熱は下つたといつたが、實はまだ八度以上清國のやうです。」

あつて、上陸後のことを案じてゐたのだが、その心理も一度にふき消されてしまつたやうだ。「もう那孫がみえてもいゝ頃ぢやありませんか。」

「うん」と従道が、胸のかくしから、直径二寸近くもある時計をとり出した時、ブリツヂにゐた船長があはたしくかけつけてきた。軍隊式に敬禮すると、時計の龍頭を押しながら、何をあわてるかと、不審な顔の従道に、唾をのみこんで云つた。

「閣下、左舷後方に軍艦らしいものが見えます。」

「どこの軍艦か。」

「従道は蓋のあいた時計をみながらいつた。」

屑米の統制 良米代用の強化

島内に於ける消費米の地方的偏在、或ひは買占を防止し、かねて適正妥當なる價格を設定すべく、臨時措置法に基き、米穀配給統制規則を制定公布したのは昭和十四年十月であつた。當時に於ける取締の對象は、米穀取扱の業者に限られたのであるが、其の後に於ける米穀事情の急激なる變遷に對應すべく、本規則も三回に互つて改正せられたのである。即ち昭和十五年二月の第一回改正に於て、米穀の所有者たる農民或ひは地主等に對しても、必要ある場合は新に命令を發し得ることとし、續い

て同年六月交通不便なる地、その他特殊の地域には事情に精通せる州知事廳長に於て價格の指定を爲し得ることを追加し、同年十月第三回目の改正の際新條文十ヶ條を挿入し、主として米穀の集荷配給機構の整備確立を期したのである。かくて米穀はその集荷配給及消費を一貫して確固たる統制の下におかれたのであるが、屑米に關する限り、一應統制外にあつたのである。昨年十月挿入せられた規則第十二條には、

「第五條乃至前條の規定に依る米穀には屑米、屑米及碎米を含まず

臺灣總督又は州知事若し廳長必要ありと認むるときは屑米、屑米又は碎米の取扱業者を指定することを得

米穀の調製を業とする者にして屑米、屑米又は碎米を所有し、又は販賣の目的を以て占有する者は、其の所有し又は占有する屑米、屑米又は碎米を前項の規定に依り指定せられたる以外の者に販賣し、又は販賣の委託を爲すことを得ず。但し特別の事情に依り州知事又は廳長の許可を受けたる場合は此の限にあらざらざり、屑米は其の量比較的に僅少なると、集荷方法も容易であるとの見解の下に、本條第一項に於て配給統制より除外し、必要に應じては集荷の萬全を圖

り得るの權限を、第二項に於て確保し來つたのである。然るに近時飯米確保の必要は愈々緊要の度を加へたので、總督府として本條第二項を發動

臺北、新竹、臺中、臺南及高雄の五州下に於ける屑米の取扱者として、臺灣屑米配給組合を指定、本年一月二十三日此の旨告示せられたのである。この結果全島に散在する約三千軒に上る糶摺糶米業者、又は農産倉をはじめとし、荷も販賣の目的を以て屑米を所有する者は、規則第十二條第三項に依つて、悉く本組合に販賣すべく、義務づけられ、違反者に對しては臨時措置法に基く罰則が適用されることとなつた。

本組合をして一元的に集荷せしめた屑米は、飯米の増強確保

の見地から、總督府の指針に依り、配給されるのであるが、府としては従来良米を原料としてゐたものゝ内、厨米で代用し得るもの、即ち酒、ビール、ピル、パン又は菓子等の原料或ひは家禽の飼料等と、先づ厨米に置き替ふべく計畫を樹て、之に依り年二十萬石内外の良米を節し得る計算である。尙厨米の價格に關しては米穀配給統制規則第二條の規定に基き、昨年十月三日及十月二十六日の二回に詳細決定告示せられたが、價格違反の行為に對しては、價格統制令の適用を受け、賣手、買手の双方が處罰せらるゝことを附言す。

官房審議室

事變國債賣出し

—本島の割當額百十萬圓—

全島民の國策協力の真心のあらはれとして、これまでの事變國債賣出しには飛ぶ様な賣行きを示し、前回の如きは追加割當の請求をなしたほどで、全島を舉げて、國債の力で築け新東亞の意氣を示してゐますが、本年はじめての支那事變國債の庫債券及び支那事變國債の賣出しは、いよゝゝ来る二月二十一日から行はれることとなり本島への割當額も百十萬圓とまづてをります。その内譯は、
△國庫債券(一號)
千圓券三百枚、五百圓券三百枚、百圓券三千枚、五十圓券二百枚
二千五百枚、二十圓券三千枚、二十圓券五千枚、十圓券五千枚
賣出價格は従來通り一分引、利率前同、償還は昭和三十三年三月一日、利子は年三分五厘で支拂は六月と十二月
△割引國庫債券
十圓券が七圓、二十圓が十四圓で賣出され償還は昭和二十六年四月七日
で、今や國を舉げて高度國防國家建設に進むべき大切な時、兵は職我等は國債の心構へをもつて、國策に協力せられんことを希望します。

部報掲載資料 賞募集

賞 時局關係又は地方色あるもの(大きさは成るべくキヤビネ判とす)
感誌 各地に於ける感懷實話又はニュース(一篇の長さは四百字詰原稿紙二枚以下とす)
漫畫 時事又は生活を取り入れたる興味的の漫畫(郵便はがき又は美濃半切大の書用紙を用ふる事)

昭和十六年二月十五日印刷發行
總編輯 臺灣總督府情報部
編輯人 加藤 豊 吉
印刷所 小塚本店印刷工場
電話 二〇七〇番

臺灣總督府企畫部編纂

再版 國家總動員法及關係法規集

水ケツト型
總クローズ
加除式
約 1100頁

(昭和十五年六月末日現在 追録等五回追加除済ノモノ)

定價 金二圓五十錢
第六回追録 定價 金五十錢

内容

本書ハ國家總動員法、輸出入品等ニ關スル臨時措置法ニ關スル法律、臨時資金調整法及外國爲替管理法ニ關スル臺灣關係法規(勅令・府令・告示)ヲ輯録ス
追テ法令改正ノ都度適宜加除訂正ヲ追録トシテ發行實費ニテ配付ス。
追録ハ前回ノ分ト共通ナリ。

發行所 臺灣總督府内
臺灣時報發行所

電話 內四九八番
集書部 二〇七〇番

目要業營

- 一、日本銀行引受國債賣捌取扱
- 二、公社債の引受募集並ニ賣買
- 三、株式の引受募集並ニ賣買
- 四、公社債元利金支拂株式配當金取扱代理事務
- 五、融業

本店 大阪市東區安土町二丁目

野村證券株式會社

臺北支店 臺北市表町二丁目

其他支店
 東京・名古屋・京都・神戸・岡山
 廣島・高松・門司・福岡・金澤
 新潟・那珂・札幌・京城

滿洲野村證券株式會社
 本店 奉天・支店 新京・大連

昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可
 昭和十六年二月十五日發行
 月三回一日、十五日發行(第一、二、六號)